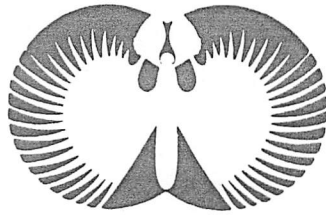


花のしくみ (その2)



観察日／ 年 月 日 (曜日)

天 気／



青森市植物公園

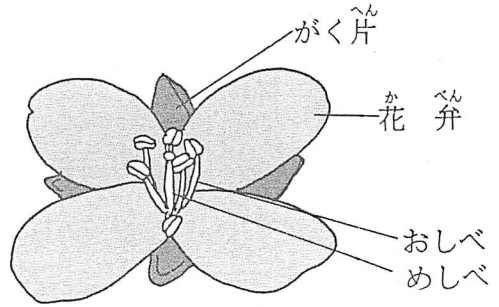
〒731-5156 青森市佐伯区倉重三丁目 495

電話 (082)922-3600

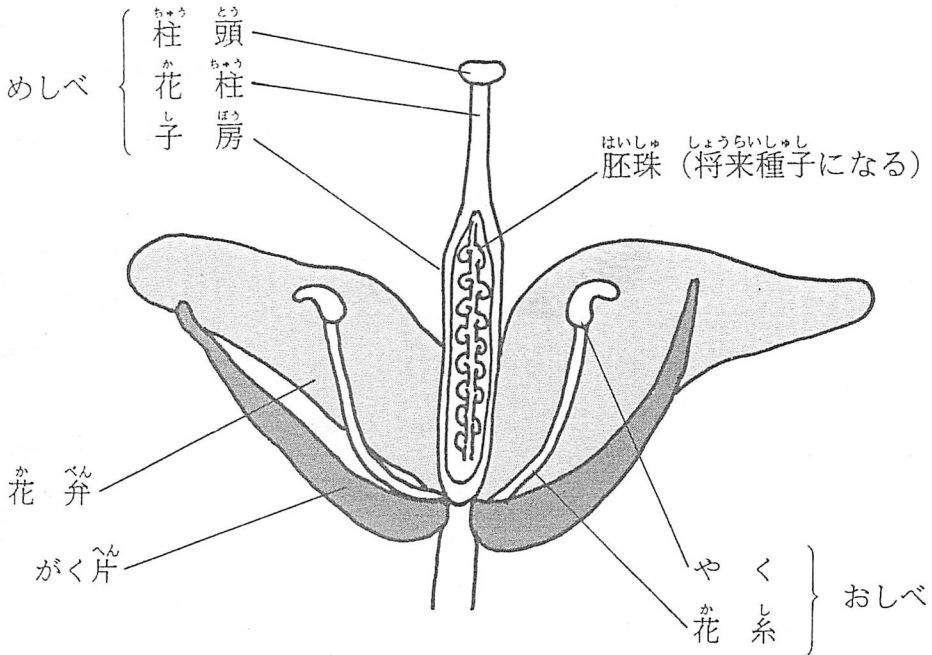
① 花のつくり

花には、^{かべん}花弁、^{へん}がく片、^{おしべ}おしべ、^{めしべ}めしべがあります。

(ユリのように、^{かべん}花弁と^{へん}がく片の^{くべつ}区別がつかないものの花びらは、「^{かひへん}花被片」と呼びます。)



アブラナの花



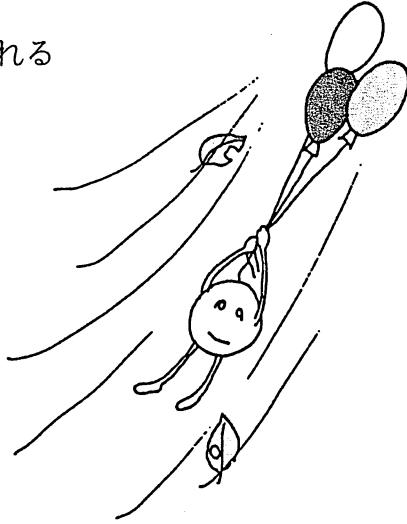
アブラナの花をたてに切ったところ

おしべの^{かふん}花粉がめしべの^{ちゆうとう}柱頭にうまくつくと、その後、^{しぼう}子房の中の^{はいしゅ}胚珠が^{しゅし}種子になります。

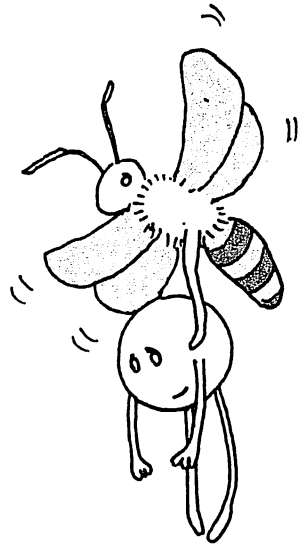
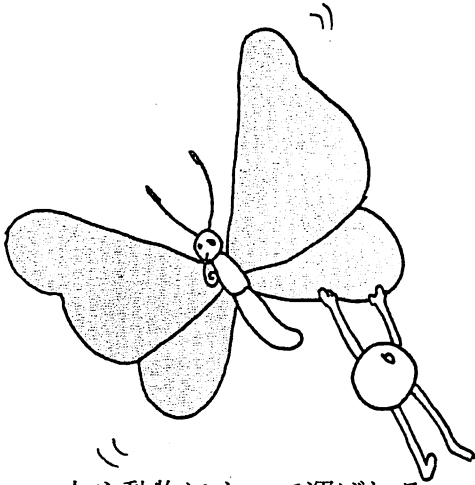
② ^{か ふん}花粉の運ばれ方

^{か ふん}花粉がおしべ（やく）から、めしべ（^{ちゅうとう}柱頭）に運ばれる方法には次のようなものがあります。

○風によって運ばれる



○虫によって運ばれる

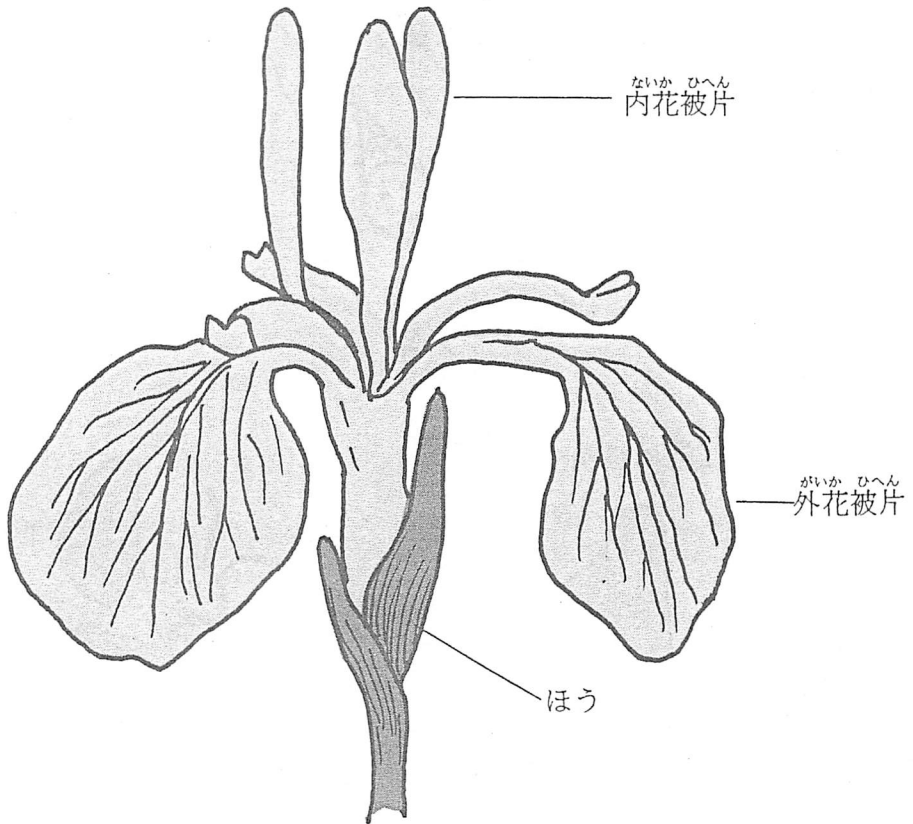


- 水や動物によって運ばれる
- 同じ花の中で^{か ふん}花粉のやりとりをする

③ ^{かんさつ}観察してみましよう ^{かんさつ}（^{さいしゅう}観察場所は最終ページの
^{かんさつ}観察マップを見てください。）

アヤメ（キシヨウブ、ハナシヨウブ、カキツバタ）

- ① めしべとおしべはどこにあるのでしょうか？
- ② 花の特徴^{とくちょう}で気づいたことを図に書きこんでみましょう。

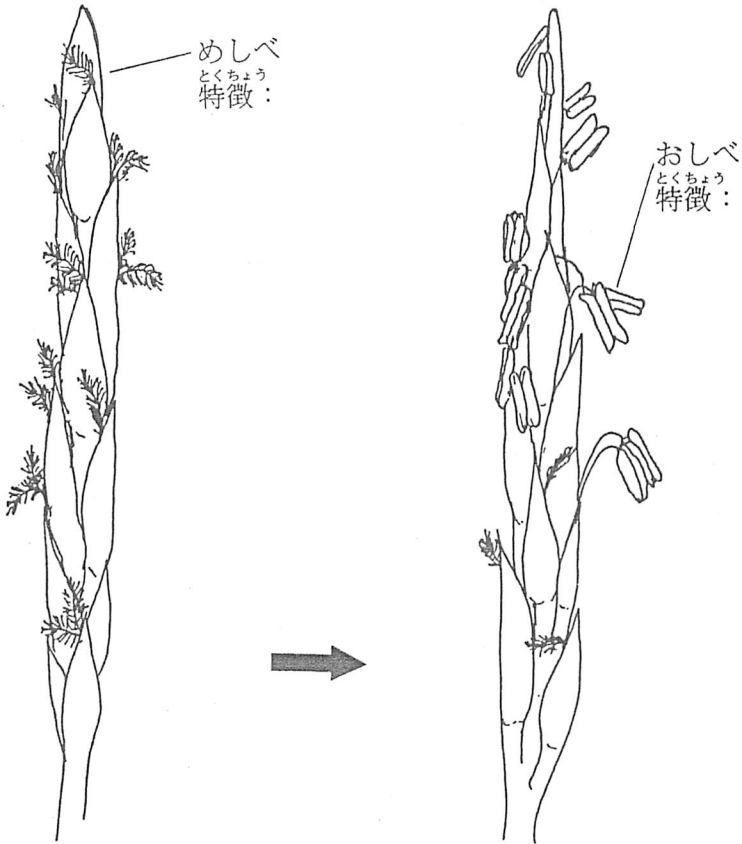


- ③ アヤメは何に^{かふん}花粉を運んでもらうのか、考えてみましょう。

コウライシバ

☆ じみな花ですが、みつけることはできましたか？

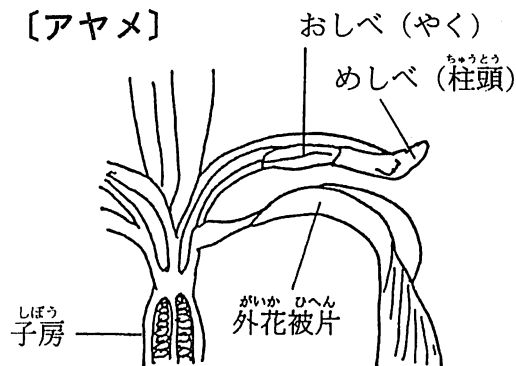
- ① コウライシバの花では、めしべが出たあとにおしべが出てきます。
おしべとめしべの^{とくちょう}特徴を書きこんでみましょう。



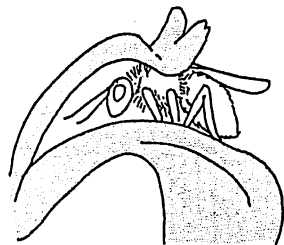
- ② コウライシバは何に^{かふん}花粉を運んでもらうのか、考えてみましょう。

④ 解答と解説

〔アヤメ〕



アヤメの花をたてに切ったところ



ハナバチがめしべと外花被片との間にもぐった時、その背が柱頭とやくにふれる。

- ① めしべとおしべは重なって外花被片の上にある。
- ② 外花被片とめしべとの間のつけねのところに蜜がある。
外花被片は大きくはでな色をしており、網目もようがある。
(虫たちに蜜のありかを知らせている。)
- ③ アヤメは蜜を求めてやってきたハナバチに花粉を運んでもらう。

〔コウライシバ〕

- ① コウライシバのめしべは、羽毛のようにフサフサしている。やくは細い花系の先についている。
- ② 風に花粉を運んでもらう。

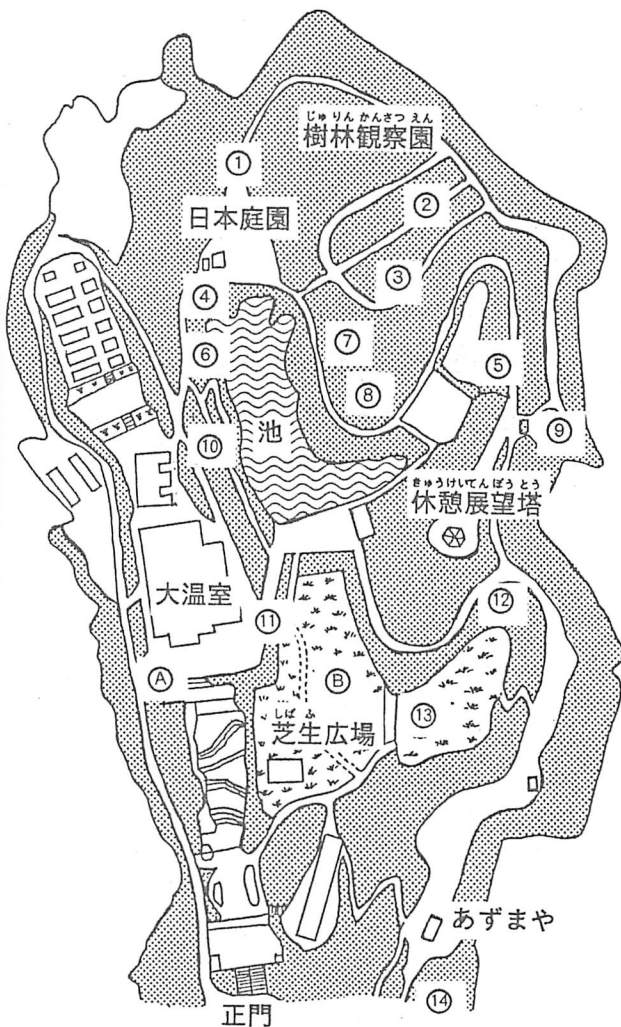
虫に花粉を運んでもらう花の多くは、蜜や花粉で虫を誘い、巧妙なくみで花粉の受け渡しをします。これらは概して大きく華やかで、においがあったりします。一方、風に花粉を運んでもらう花は小さくじみで、においもありません。そのかわり、めしべの形が風に流されてくる花粉を受けとめやすいようになっていたり、おしべの形が花粉をまき散らしやすいようになっていたりします。

植物公園花暦

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
風によって花粉が運ばれる花	ケヤマハンノキ	フサザクラ	シナサワグルミ	アカマツ スイバ コウライシバ			トウモロコシ		カラムシ	ススキ		
虫によって花粉が運ばれる花	ウメ	アセビ	ツノハシバミ ヒメヤシャブシ コナラ	シラン	ヘラ	オオバコ		キキョウ			ヤツデ	
他の方法で花粉が運ばれる花	ヤブツバキ (鳥)		コバノミツバツツジ ミスバシヨウ	フジ	アヤメ	ノアササ	ザミユリ	ミンハギ	オミナエシ	ハギ	ツツバキ	
							ホタルブクロ	イヌザンショウ		アメリカノウゼンカズラ (コウモリ) クロモ (水)		ヤブツバキ
										アサガオ (同じ花)		

えん ない かん さつ
園内観察マップ

場所	植物名
A	アヤメ
B	コウライシバ
①	ミズバショウ
②	ツノハシバミ
③	ヤツデ
④	ノアザミ
⑤	ヤブツバキ
⑥	フサザクラ
⑦	シラン
⑧	アカマツ
⑨	ハギ
⑩	ヘラオオバコ
⑪	クロモ
⑫	シナサワグルミ
⑬	アメリカノウゼンカズラ
⑭	コナラ



学校名	
学 年	年 組
名 前	